



オフィス スパニング

うっかり姉の会社に入社したら

毎日、事務所で尻叩きさやまくりなんだけど

誰か理由を説明してください！

姉が起業した。
化粧品クリームの製造販売会社だ。

僕には関係の無いこと？

そうは行かなかった。

大学を卒業すると同時に、
半ば無理矢理入社させられてしまったのだ。

それから、入社してすぐに分かった。

姉の会社には女性社員しかいない。

男性が僕以外にも誰も居ないのだ。

そんな僕に与えられた仕事は、『営業』。

僕は、姉の

「良い成績をあげたらラッパ褒美として、即取締役」

という言葉に乗せられて、頑張った。

でも、男の僕がいくら売り込んでも

女性用化粧品クリームなんて売れるはずもなかった。

そして姉は僕に言った。

「いくら可愛い弟でも、営業成績が悪かったら罰を与えるわ」

正直、冗談だと思った。
単なる脅しだと。
でも僕はその日を迎えてしまった。

「かわいそうだけど見せしめの意味も込めて、
恥ずかしくお仕置きを受けてもらうやま」

僕はその日の朝礼で、
他の社員も見ている前で、
姉にズボンを降ろさせ、
パンツを剥ぎ取らせ、
お尻を突き出すように机の上に突っ伏して、
罰を受けた。



お尻叩きの罰を...





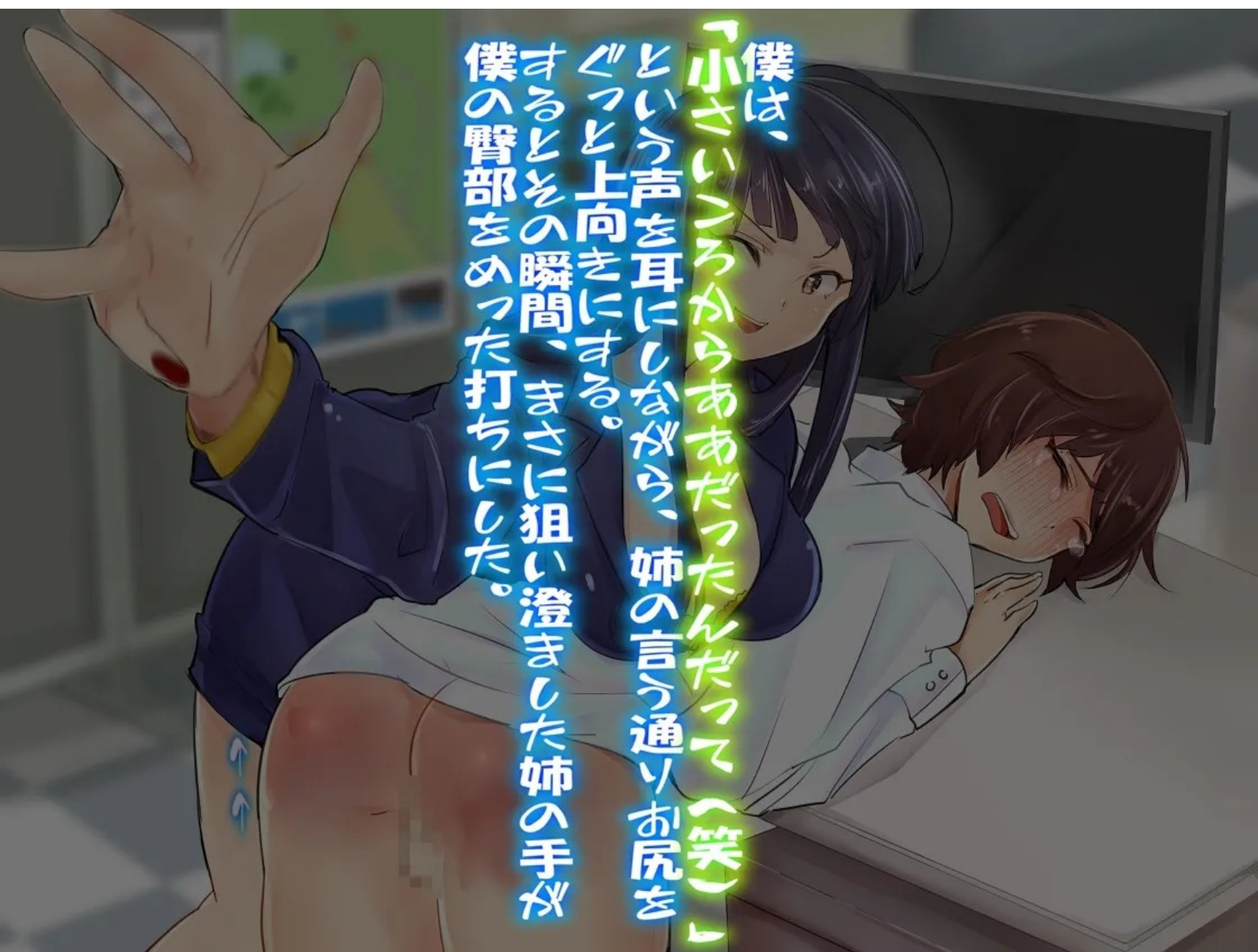
「やめて、お姉ちゃん！
お尻を叩かないで！
お願いします！
お願いだから！」

「ダメさ。
約束したでしょう？
営業成績が今のままだったら、
お尻叩きの罰を与えるって。
社長が約束を破る訳にはいかないの。
分かるよね？」

「でも……なんでも……なんでも……恥ずかしいですね……」

「そなたが良いのよ。
たつたつぷり、恥ずかしい思いをして、
たああつぷり、反省しなさい。
反省したら次はもっと頑張るものね。
ほら、お尻叩きの最中はお尻をもっと上向きにして、
小さい頃からずっとそう教えてきたでしょう？」





僕は、
「小さいころからああだったんだって（笑）」
という声を耳にしながら、姉の言う通りお尻を
ぐつと上向きにする。
するとその瞬間、まさに狙い澄ました姉の手が
僕の臀部をめつた打ちにした。





「お姉ちゃん！
もう許して！
もう許してええええ！
次はっ！
次はちゃんとやるからあああ！」

「次はちゃんとやる？
それは当然でしょう？
それから会社では「社長」と呼ばない！
「お姉ちゃん」ではなく「社長」っ！
後で罰を追加するわ！
ほら！お尻が下がってきてるっ！」

ヒッヒッ

ヒッヒッ





「次はぜったにつつたいたい、
営業目標を達成すること、
分かったわね。」

「ひつく...ひつく...。
わか...分かりました...」

「どう？
それじゃあ、さっきの追加罰を
言い渡さないわね。」

「...うう...、そんな...」

「マ...」

「今日から毎日、朝礼の時貴方はお尻を出して参加なさい。お尻の赤みが引いてきたら、その都度、お尻叩きをします。次期の営業成績が出るまでお尻叩きはずつつつと続けるわよ」

「……うう……、そんな……」

「あ、それからお尻叩きをされた日の午前中は外回り行かなくても良いわよ」

「えっ？」

「お尻出したまま、オフィスで立ってなさい」

「……えっ？」

「……えっ？」

「お尻丸出しの姿を見られて、真っ赤に腫れ上がったお尻を見られて、他の社員にたっぷり……、たっつっつっつぷり笑ってもらいなさい。分かったわね？」

「もちろん、今日もそのままの格好で立っ
ていてもらうよさ。」

壁の前に立ちなさい。

真っ赤なお尻を、他の人がさくらさくらと
じつじつじつじつじつ見やるように、

こっち側に背中を向けて立つのさ。

両手は背中で組んで。

ワイシャツは……お尻にでも挟んでおきなさい。
じやないと、お尻が隠っちゃうでしよ。」

チャプター2



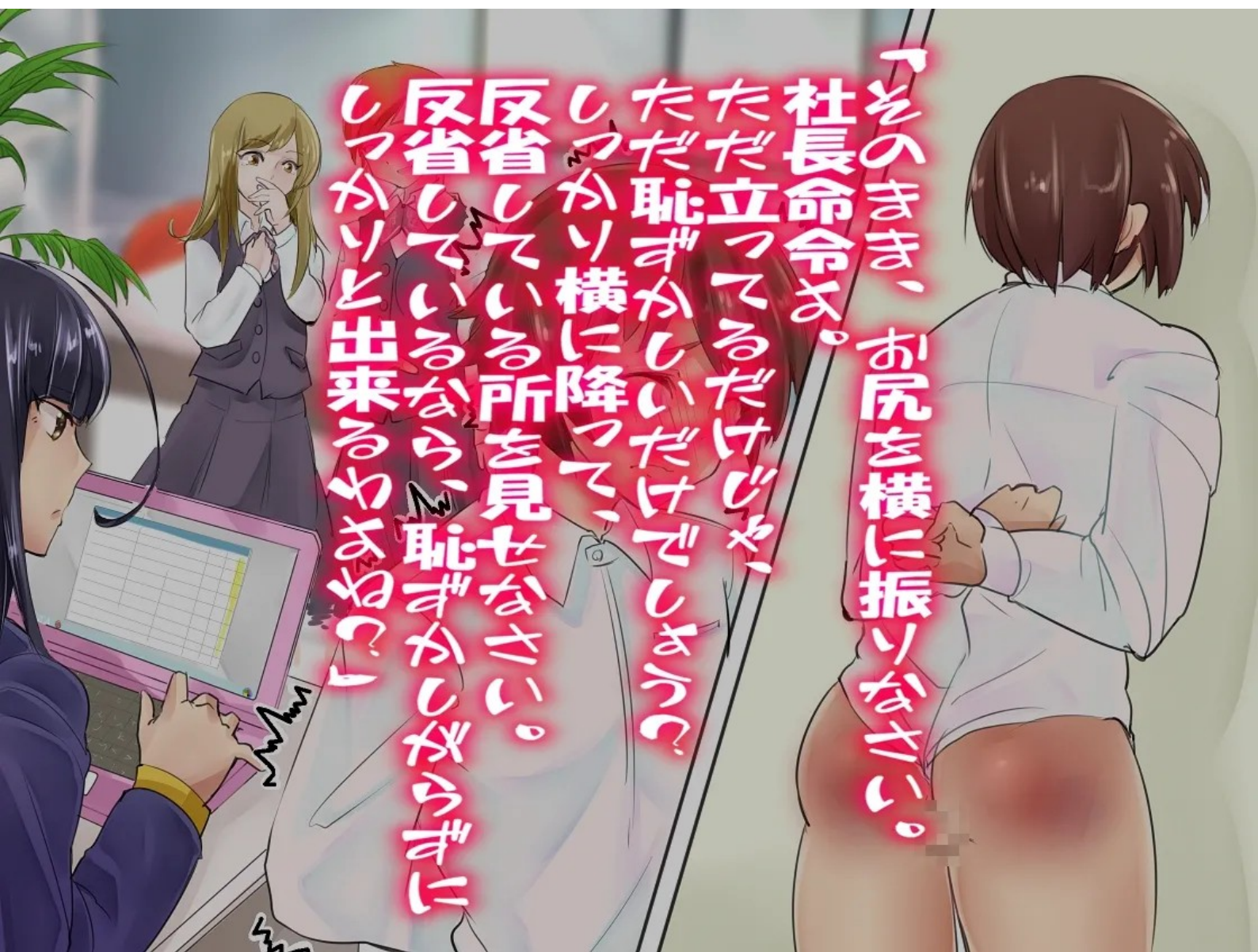






衆目に晒されるだけの、羞恥の時間。

そんな時、姉から非常の命令がくだされた。



「そのまま、お尻を横に振りなさい。
社長命令さ。
ただ立つてるだけじゃ、
ただ恥ずかしいだけでしょ？
しつかり横に降つて、
反省している所を見せなさい。
反省しているなら、恥ずかしいがうざに
しつかりと出来るやなぬ？」



「出来ないならそれでも良いわよ。
午後ものまま立ってなさい」



僕は黙ったまま姉の言うことを聞くしか無かった。







「なにをやるの？」
「じゃあ、もしかしらば……」

「床にチ○コ擦りつけて、腰を横に振るんだぞ。
オナニーして。
おれにもつくんだぞ。」

「あ……ああ」

「ん……ん……」



「仕事中に！」

「それも反省中に勃起するなんて……！」

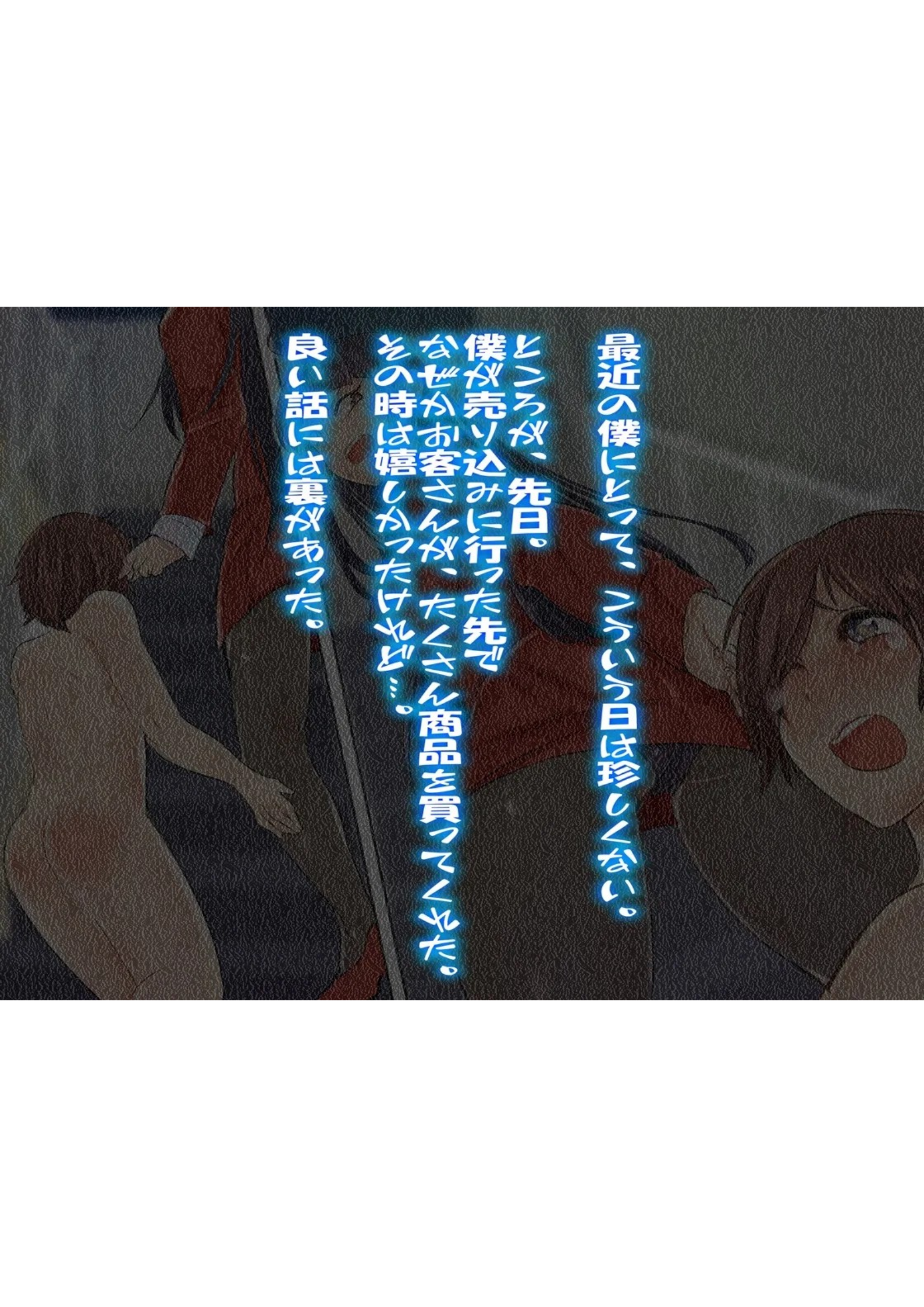
「あり得ないでしょうっ！？」

「もう立ってなくて良いわ。」

「その代わり、今日は私が良いと言っまで」

「トイレの罰掃除をなさい！」

「便器が輝くまで磨くのさ！」」



最近の僕にとって、こういう日は珍しくない。

ところが、先日。

僕が売り込みに行った先で

なぜかお客さんが、たくさん商品を買ってくれた。
その時は嬉しかったけれど……

良い話には裏があった。



チャプター 3



「全く！
急にたくさん売って来たと思ったら、
あんなヤバイところに売り込んで！
あの奥様は業界では有名なやつ！
大量に買ってくやるけど、
その直後に全商品返品！
即時全額返金要求。
応えなかったら、ソッコーで消費者庁行き！
おかげで、骨折り損の
くたびれ儲けにしかならなかったのさ！」

「だって知らなかったから！
耳を引っ張らないで、お姉ちゃん！」



「黙りなさい！
見なさい！
エレベーターも使わせてもらえないから、
こんな階段登らないと行けないのよ！」

「そんなに待つて！
待つてくたさいっ！」

ちんちん



「待ちません。
こっちに来なさい！
もう絶対に逃げられないわよ！
今までには精々100回200回だったけど、
今日はどんなに少なくても100回！
100回叩くまでお姉ちゃんには絶対に、
お尻を叩くのを止めませんっ！
分かりましたね？」

「そんな…百なんて絶対無理。
絶対無理ですう！」

「それに、なにも他の社員さんが見ている前で僕を裸にしながらも……」

「自分だけが悪いことをしたか、分かっていないみたいね。貴方は会社全体に時間と手間を棄てさせたのよ。このから死ぬほどキツイ罰を与えらるんだって他の社員の前で見ておかないと、皆納得できないわ！ 貴方はそれだけのことをしたのよっ！」

「そ……そんな……」



「階段を上がり終わる前までに、
きちんとお尻叩きを受ける覚悟をしろ！
せめてお姉ちゃんも少しでも
お尻を叩きやすいようにして、
誠意と謝意を示すのよ！
お尻叩きが終わっても、終わりにしないわ！
今回は徹底的に罰を与えるわよ！」

「お、終わってからもうっわ！」





「当たり前でしょ？！
最低でも半年間は毎朝のお尻叩き！
お尻丸出しでトイレ掃除！
終業時間前にももう1回お尻叩きま！
もちろんトイレ掃除以外の時間は
オフィスの壁の前で
反省の時間として、
お尻丸出しで立ってなさい！」

「そんな…そんなにたくさん…。
しかも半年もだなんて…！」

「さ、社長室に着いたやあ。
覚悟は良いの？」

姉は、僕が返事をする前にドアを開けた。
そして椅子の上に座り、自分の膝を指差す。

「私の膝の上に腹ばいになりなさい。
ここで、お尻叩きするわよ」

そういう意味だ。



チャプター4

「お姉ちゃん、足がっ！
足がっ！！
足だけは離してっ！」

「駄目さ！」

「こうしてないと、すぐにお尻が逃げるぞじゃって
がっちりホルドしたまま、続けますからねっ！」























「さっきから言おうかやめようか
悩んでいたんだけどね？
貴方勃起してるやね？
バレないと思ってた？」

タッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

はー

ズッ

「それから、自分で気がついてないのかもしれないけど、……貴方。今ガマン汁が垂れてるやま。オチンチンから垂れ流し状態。あと二、三発叩いたら、出ちゃうんじゃないかしら？ ヤッてみる？」

「待って！
待って！
待って！
待って！」

でも











「お尻叩かした回数だけ射精しちゃうんだ？
最低ね。」

でもコレでよく分かったわ。

お姉ちゃんのお尻叩きで、

貴方は感じちゃう。

射精しちゃう。

今までも勃起ぐらいはあったけど……。

でもまさかここまで酷いとは思わなかったわ。

膝から降りなさい。

お姉ちゃんに言うことがあるぞいもうっ！」

言うべきこと…。
それが何か。
もう僕には分かっている。

チャプター5



「お姉ちゃん、ごめんね。僕、あの…あの…あの僕…」

「……うん」

「本当は僕はお尻叩きで…あの…あの…」

「……うん」

「お尻叩きで…感じてました。恥ずかしい思いをすると…勃起しちゃって…」

「……うん」

「……うん」



「でも、射精したのは今日が初めてです」

「……んん」



「バムなヤコ」

「うん。
よく言えたね。
いい子いい子」

貴方は小さい頃からこうやって、
お尻叩きの後は頭を撫でてもらうのが好きだったよね。
いい子いい子。

















★製作★

スパンキングLOVE

所属：M小説同盟

【メールアドレス】

munitednovel@gmail.com

【ツイッター・アカウント】

@muran1983

フォローみiiiiiiiiっ!!!!!!!

★制作協力★

和田様

【HP】

<http://varacashi.a.x.fc2.com/>

【pixiv】

http://www.pixiv.net/member_illust.php?mode=medium&illust_id=51712587

【Twitter】

https://twitter.com/wada_chin



◆◆◆アンケート◆◆◆

当サークルは、読者様から広く意見・リクエスト等を募集しております。
どんなことでも結構です。

アンケートにお答え頂いた方には、御礼のCCを2点送信させていただきます。

次回作以降の参考にさせていただきます。
以降の定型文を埋める形で送っていただけると幸いです。

次回作の参考にさせていただきます！

《メール返信用アンケート》

作品名：オフィスパンキング

- Q1【この作品を何処でお知りになりましたか？】
Q2【ダウンロード(購入)のきっかけは何ですか？】
Q3【お気に召しましたシーンはありましたでしょうか？ あるいはどのシーンでしょうか？】
Q4【今後こういう作品が見たい等のリクエストや意見があれば何でも、お気軽にお申し付け下さい！】
(ナース2人にWでお尻叩きさめる…等)

メール送信先：muni-ednovel@gmail.com

《Special Thanks +o》

スパンキングの魅力 僕のお尻にお仕置きを 様

<http://spankingfm.blog13.fc2.com/>

マゾヒストの喜び 様

<http://kazouk.com/>

M男な二次作 様

<http://monanizisaku.blog.fc2.com/>

エロ同人NAVI 様

<http://dnavi.eromoe.com/>

DL 同人観測所 様

<http://dldojin.blog28.fc2.com/>

HENTIリンク+萌 様

<http://shirayuki.saiin.net/~henti/>

symas' Forced Feminization Stories (強制女性化小説・情報) 様

<http://ff+gmania.blog95.fc2.com/>

桃色魔同人 様

<http://blog.livedoor.jp/momoiroma/>

